



令和元年 12 月 25 日

ベジタリアン/ヴィーガン関連制度推進のための議員連盟  
会長 河村建夫様

NPO法人日本ベジタリアン協会  
代表 垣本 充

ベジタリアン/ヴィーガン関連制度推進のための議員連盟  
第 3 回会合に際しての提言

-ベジプロジェクトジャパン提言書データ検証-

-欧米のヴィーガン基準認証の例・コンタミについて-

ベジプロジェクトジャパンの提言書の「表 1 欧米のヴィーガン基準認証の例」のコンタミの項目のうち認証に関わる箇所を再検証してみました。これには HappyCow のアンバサダーで TOEIC990 点のスタッフも加わってくれました。検証については各団体のホームページや直接質問などを行いました。その結果、**ベジプロが「コンタミ可」としている項目は全て不適切な表記であることが判明しました。**例えば、英国ヴィーガン協会や欧州ベジタリアン連合は認証の主要な箇所にコンタミ検査が必要だと記されています。なかには例外規定があるのですが、このような例外の表記をもってコンタミが許される「コンタミ可」と表示するベジプロの資料は、客観的に見て信頼性が乏しく不正確で、自らの認証を正当化するための極めて作為的な行為のように思えます。

日本ベジタリアン協会によるベジプロ資料のコンタミ検査に関する検証結果

	ベジプロジェクトジャパン		日本ベジタリアン協会	
	コンタミ	現地調査(認証)	コンタミ	備考(数字は出典アドレス)
英国食品基準局(FSA)(2006, ガイダンス)	不可	—	不可	EU 規制の基になり、主要団体の認証の基準として用いられている
英国ヴィーガン協会(認証)	可	非常に稀に実施	不可	①認証の巻頭にコンタミ検査記載
欧州ベジタリアン連合(EVU) V-Label(認証)	可	ランダムに実施	不可	②原材料だけでなく、製造プロセスの確認
ヴィーガンアクション(認証)	可	不明	?	③製造工程完全洗浄要求するため、不可と考えるが、消極的表現により、協会名で問い合わせするが回答無し
英国ベジタリアン協会(認証)	不可	不明	不可	

①<https://www.vegansociety.com/your-business/vegan-trademark-standards>

②<https://www.v-label.eu/the-v-label-for-existing-customers>

③<https://vegan.org/certification/>

③のヴィーガンアクションは、栄養・健康、環境保全、途上国援助、動物愛護など4つの大きな目的を掲げるベジ・ヴィーガン市民団体とは異なり、特定の思想の下に1995年に作られた団体が運営していて商業ベースでヴィーガン認証を行っています。この団体は北米最大のベジタリアン組織である北米ベジタリアン連合にも属さないで独自の認証活動を行っています。ちなみに、北米のアメリカベジタリアン協会や南米のブラジルベジタリアン協会は、製造工程での検査が必要で**コンタミ不可**としています。

このような認証の混乱を是正するために欧州、北米、オセアニアのベジタリアン市民団体がスイスの国際標準化機構(ISO)でベジ・ヴィーガン認証の統一を行おうとする動きがあります。

以上の事柄から、生産量が多く外国にも輸出される食品(加工食品)については、食品製造工程でのコンタミ(cross-contamination)検査はベジ・ヴィーガン認証にとって大変重要なものです。これを除いたガイドライン作りや認証を行えば国際世論から大きな批判を受けるものと考え、食品(加工食品)の認証に関して製造工程でのコンタミ検査の導入を提言します。

上述については食品(加工食品)についての認証ですが、ベジ議連の第1~2回の議論では、食品(加工食品)と外食(レストラン・ケータリング)の認証の議論が混在していて、まずこれを分けて考える必要があると思います。

インバウンド需要すなわち、外国人客の需要を活性化させるためにレストランなどに分かりやすく統一された表示が出来れば、外食産業のより一層大きな市場開拓に繋がると考えます。

そのためには、食品(加工食品)の認証とは別の、より簡潔な判断基準を外食(レストラン・ケータリング)の認証に適用する必要があります。そのために、幣協会がHPに公開するJPVS(日本ベジタリアン協会)推奨制度の、食品推奨とケータリング推奨を参考資料として配布しています。幣協会は外食に関しても国際世論から一定の評価を受けるシンプルで分かりやすいベジ・ヴィーガン認証の実現を提案します。